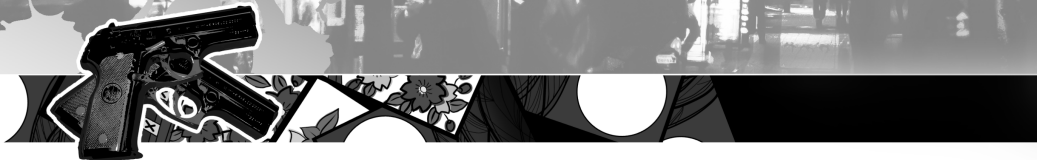


オークション ダークサイド



◆VIPの設定:【導入】

「街」の一角の、とある寂れた劇場。その地下深くで、数日間に渡り闇オークションが開催されるという。そこでやり取りされるのは、眼を見張るような高級宝飾品や、あまりの強力さに「街」でも流通していないドラッグ、それから見目麗しい男女の奴隷。売る者と買う者がいる限り、そこには必ず利権が転がっている。そんな情報を嗅ぎつけたお前たち悪党は、オークション会場へと集い始める…。

※このシナリオでは、特定の誰かがVIPということはない。オークション会場に足を運んだ「街」の、あるいは外界の大物たちとのコネクションが、今回の利権と言えるだろう。

◆獲得目標値:VIPの残り利権数:智力/10

利権獲得判定の目標値:智力/11

ジョーカーの表裏効果:智力/12

ジョーカー獲得の目標値:暴力または智力/12

◆ジョーカー:「本日の目玉商品」

フレーバー:人間離れた美貌の男性/女性が、今回のオークションの目玉商品として売りに出された。彼または彼女の所有権を運営に認めさせることができれば、値が付いた際、その出品者として売り上げを回収することができるだろう。

※彼/彼女の正体は、PC①の恋人である。詳細な設定については、PC①のプレイヤーに使命を伝える際に考えてもらうこと。

(もしも思い付かない場合は、『Club All In One』から身請けを約束していた娼婦/男娼)などにするといいだろう)

表効果:自分のターンの好きなタイミングで使用を宣言することで、「財」を「現在のサイクル数×2」点を獲得することができる。この効果を使用すると、ジョーカーは即座にゲームから除外される。

裏効果:ゲームⅡの最後に、所持者の利権を-3する。

◆VIPの利権:VIPの利権数:13

利権獲得難易度:暴力→1+2d6 / 智力→7+2d6 / 色香→4+2d6

(プレイ時間:3~4時間)

◆選択ルール NPC:このシナリオでは使用しない

エンディング: 最も多くの利権を手にしたお前は、オークションという場を利用して数々の大物とコネクションを築いたことだろう。今後手に入れた名品・珍品の数々は、足が付く心配なく彼らへと売却することができる。それを当てにして、お前の元へ曰く付きの品々を持ち込む者たちまで現れるはずだ。お前はそのコネクションを当てにのうのうと暮らしてもいいし、更なる利権を求めて、「街」の闇へと再び踏み出してもいい。

…人に欲のある限り、利権は必ず生まれるものなのだから。

その他追加ギミックなど: ◆各 PC の使命

PC ①

ジョーカー『本日目の目玉商品』はお前の恋人だ。(恋人の設定は、お前自身が考え、GM にこっそりと伝えること)。

ゲーム I 終了時にジョーカーを保持している場合、裏効果を無効化した上で「5」の利権を獲得する。

PC ②

莫大な財力は、ただあるだけで利権を生み出す。このような売り買いの場では、殊更に。

お前の使命は「財」をかき集めることだ。ゲーム I 終了時に保有している「財」3点につき、利権を「1」獲得する。この使命で手に入る利権は、最大で「6」とする。

PC ③

お前の使命は、オークションに出品される「仙人香」という名の希少なドラッグを競り落とすことだ。

3 サイクル目の「街のターン」で発生するイベント【オークション開始】で競り合いに勝利した場合、利権を「5」獲得する。

PC ④

お前はオークションの裏を探るため、会場に潜入した。

お前の使命は、裏切り者を見つけ出すことである。ゲーム II で裏切り者を指名できた場合、利権を「4」獲得する。

PC ⑤

お前の使命は、悪党共に売買のルートを確立することだ。

ゲーム I で、他 PC との【交渉】が成立した回数×「1」の利権を獲得する。GM を介さずに行われた交渉については、回数にカウントしない。

◆「街」のターン (ランダムイベント)

GM は 2D6 を振り、発生するイベントを決定すること。

2-3 不可視の介入 (P54)

4 天下の回り物 判定: なし

PC 全員が 1D6 を振り、出た目分の財を左隣の PC に譲渡する。(足りない場合は 0 まで)。投資家・金貸しなら「智力」を基準に目標値 12 の判定に成功すると、譲渡を拒否できる。

5 自由交渉 (P54)

6-8 オークション開始

希望する PC は、オークションに参加することができる。

出品されるのは「1~3」の利権である。GM はダイスを振り、何点の利権が出品されるのかを決定、発表すること。

オークションに参加した PC 同士は、「財」を支払って競り合いを行う。最も高い値を付けた PC が、出品された利権を獲得することができる。

9 流れ弾 (P54)

10 蜜の罠 (P54)

11-12 黒服のマーク 判定: 暴力以外 ≥ 10

成功: 何もなし。

失敗：次サイクル：判定に「暴力」が使用できなくなる。

(《圧倒的暴力》で「暴力」を使用することはできる)

※3サイクル目の「街」のターンでは、必ず【オークション開始】のイベントを発生させること。出品されるのは「仙人香」と呼ばれるドラッグで、利権は「2」に相当する。

自由記入欄：※GM・プレイヤーがシーンの描写に悩む場合、1D6を振り、以下のシーン表を使用すること。

- ◆1 バーラウンジ：壁一面に巨大な水槽が据え付けられた、小洒落たバーラウンジ。無口なバーテンダーは、どんな秘密も語らない。
- ◆2 エントランスホール：エントランスはざわめきに満ちている。この内の何割が目当ての商品を競り落とし、地上に帰ることができるのだろう？
- ◆3 喫煙所：紫煙に曇るオークションハウスの片隅。あちこちで内緒話が交わされている。
- ◆4 個室：(連日に渡るオークションのため、大口の顧客には個室が用意される)
忍び込んだ、とある個室。この中での出来事は、誰にも知られることはない。
- ◆5 オークション会場：(オークションは、オペラでも上演できそうな広さの、豪華なホール内で行われる) 開会を目前に控えた会場内は、互いの出方を伺う、独特の張り詰めた空気に満ちている。
- ◆6 商品保管庫：(オークションに出品される全ての商品が収められた倉庫。木目に塗られた扉はそれ、鋼鉄製の頑丈な防壁だ) 保管庫に近付くと、黒服どもの視線が突き刺さる。どうやら長居は無用のようだ。

※「街」のイベント【オークション開始】の商品の描写に悩む場合、1D6を振り、以下の描写表を使用すること。

- ◆1 今回出品されたのは見目麗しい男女の奴隷たちだ。とはいえ、オークショニアの説明を聞くに、客と採め事を起こして仕事が続けられなくなった風俗街の連中らしい。高く買い取れば、風俗街へのちょっとした貸しくらいは手にできるだろう。ということで、利権は1点。
- ◆2 今回出品されたのは、とある殺人鬼が、殺した相手にインスピレーションを受けて描いた絵画の数々だ。一部でカルト的な人気を誇る。芸術を愛するVIPや、狂気を愛するVIPたちが、絵画を眺めるのを口実に、お前に有益な話を齎しに訪れるだろう。利権は2点。
- ◆3 今回出品されたのは、とある企業が開発したスパイウェアだ。完全に違法なそのソフトは「街」で秘密裏にテストが行われたが、その際数点だけ複製された。どのように使おうとも、お前が莫大な利権を手にするのは間違いない。という訳で、3点の利権が手に入る。
- ◆4 今回出品されたのは、アムールトラの雄「寅次郎」3才。絶滅危惧種に指定され、ワシントン条約でも輸出入が禁じられているが「街」にそんなルールは通用しない。競り落とせば、1点の利権が手に入る。
- ◆5 今回出品されたのは、偽造業者の名刺だ。偽札から生きた人間まで、どんなものでも偽造すると噂のその業者は、多額の懸賞金を掛けて探すVIPすら現れるほど。その連絡先が掴めるとなれば、名刺一枚とて馬鹿にすることもできない。2点の利権が手に入る。
- ◆6 とある国の政府の重大な違法行為の証拠が記録されたデータディスク。然るべき相手にリークすれば国家が転覆するほどの秘密が暴露されることとなるが、このディスクの元の持ち主は秘密を託す相手を間違えたようだ。手に入れるだけで3点の利権が手に入る。
- ◆X 今回出品されたのは、仙人香と呼ばれる超危険なドラッグだ。途轍もない絶頂感を得られる代わりに二、三発で廃人になるという強力さから「街」でもほとんど流通しない。上客に売り付ければ、相応に旨い話を回してもらえるかもしれない。2点の利権が手に入る。